総括質疑

◆水道事業決算について

問 逆ざやが、昨年度より大きくなった原因は何か。

答 有収水量の減少に伴う給水収益の減少と浄水施設等に係る修繕費増である。

◆一般会計補正予算について

問 スマートウエルネスシティ推進費、運動スポーツ習慣化促進事業について、ほぼ100％国庫支出金の地方スポーツ振興補助金と考えるが、どのような事業メニューで使えるのか。

答 事業の内容は、子どもたちからの働きかけを行っていこうというもので、東西小学校のそれぞれ1学年を対象に、オリンピック・パラリンピックのメダリスト等によるキッズアンバサダー養成講座を実施する。

問 農業費の新規就農者育成総合対策補助金はどういうものか。

答 新規就農者の機械、施設等の導入に対し国が2分の1、県が4分の1を補助するもので、内容は中古ハウス、中古鶏舎、ブロイラー給餌器の購入となっている。

◇常任委員会審査◇（本会議から付託された、議案や請願などについて審査を行います）

総務厚生常任委員会

（総務、福祉、保健衛生及び他の常任委員会に属さない事柄に関する事務の調査並びに議案、請願、陳情等の審査を行います）

令和5年度一般会計補正予算で本委員会に関わるものについて審査を行いました。なお、審査の主な内容について抜粋します。

老人福祉費、地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金について

高齢者施設等の防災・減災対策を推進するための交付金で、町内の認知症高齢者グループホームが非常用自家発電設備を整備する計画で、本交付金を活用するもの。

子ども子育て事業費の、おむつの負担軽減モデル事業補助金433万円について

県が行う新規事業で、保護者の経済的負担及び保育士の業務負担の軽減を図るため、おむつサブスクリプション事業に取り組む施設に対し、おむつの利用料及びおむつの処分費用を助成する事業。

雑入の返還金470万円について

令和3年度実施の会計検査により指摘を受けた案件で、放課後児童クラブ委託料に係るもの。検査対象は、平成30年度及び令和元年度の放課後児童健全育成事業だったが、指摘事項を踏まえ、令和2年度分までの3か年分を精査し、今回、各児童クラブへ支払った委託料の超過支払い分について、返還を求めるもの。

交通安全対策費について

神祭野坂を含む茂広毛平付・高岡線の道路改良事業を進めているが、本路線は通学路ともなっており、防犯灯を設置してほしい旨の要望書が提出されたことから防犯灯11か所分の設置手数料を計上したもの。

文教産業建設常任委員会

（文教、産業経済、土木建築に関する事務の調査及び議案、請願、陳情等の審査を行います）

令和5年度一般会計補正予算で本委員会に関わるものについて審査を行いました。審査の主な内容について抜粋します。

東西小中学校体育館LED照明リースについて

現在各学校体育館は水銀灯を利用しているが、水銀灯の製造は既に禁止されているため早急にLED化する必要がある。LED化は工事又はリースの二つの方法があるが、工事の場合一度に多額の予算が必要となり財政的負担が大きくなるため、財政負担の平準化が図れるリースを選択する。今回の補正額は令和5年10月から令和6年3月分の6ヶ月であるが、補正予算とし7年契約のリース費用を計上するもの。

蚊口浜公園外灯改修工事について

外灯が故障しているため園路沿いの外灯をLED防犯灯に換え電力ケーブルを新設するもの。

高鍋町肥料高騰対策事業補助金交付要綱について

肥料価格の高騰による農業経営への影響緩和のために化学肥料の低減に向けて取り組む農業者の肥料費の一部を支援する。農林水産省の肥料対策事業において前年度から増加した肥料費の7割を国が支援、県と町がそれぞれ1・5割を支援するもの。

◎対象となる肥料は令和4年11月から令和5年5月に購入した肥料（令和5年の春肥として使用した肥料）

◇特別委員会審査◇（必要がある場合において議会の議決で置くことができます）

認定第1号　一般会計決算審査

◆財政経営課

問 不動産売買収入の教職員住宅3件分の入札については。

答 入札の結果、個人が2件、法人が1件でした。

問 「ふるさとづくり基金」は、繰入額より取崩額の方が大きい理由は。

答 寄付金の予算を10億円と見込んでいたが、下回ったことによるもの。

◆地域政策課

問 町長も含めた役場職員と誘致企業との交流会などを開いて、企業の要望を聞いたり、こちらの要望を伝えたりとか行っていないのか。

答 担当者間での情報交換は行っている。町長は上京した際などに本社を訪問したりしている。

問 観光紹介サイトの実績は。

答 令和5年2月に完成、開設後8月までの視聴回数は1万6327回であった。

◆農業政策課

問 町内の「ため池」の今後の方針について伺う。

答 使用していないため池については、県とも協議しながら廃止に向けて下流域とも調整しながら進めて参りたい。

◆町民生活課

問 ヤンバルトサカヤスデの共同研究の成果は。

答 宮崎大学、宮崎県木材利用技術センターで、駆除剤ではなく忌避剤の研究を進めており、技術センターで実証実験を行っている。

◆建設管理課

問 国有林借上料についての規定はあるのか。

答 西都児湯森林管理署が積算し、3年に一度契約の更新をしている。

問 委託料の盛土調査の調査箇所はどこか。

答 町内21箇所。「めいりん公園」と「わかば台」の2箇所の危険度が高いという結果であった。

◆農業委員会事務局

問 高鍋町は女性農業員が少ない気がするが。

答 令和4年度は1名だったが、令和5年7月に改選があり、現在2名に増えている。

◆上下水道課

問 都市下水路管理の事業箇所について説明を求める。

答 出水期前にパトロールを行い、土砂の堆積の著しいところの浚渫を行っている。

◆総務課

問 西都児湯消費生活相談センターで相談を受けた案件で、その後弁護士に繋いだ件数は。

答 センターから無料法律相談に繋いだ件数は6件だが、ほかにも急を要するものや専門性のあるものは、法テラスなど専門の方に繋いだ案件もある。

問 360枚購入した避難所用パーテーションマットの詳細は。

答 町体育館、中央公民館、南薩食鳥に保管しており、個室になるよう組み立てると72区画分になる。

◆健康保険課

問 令和4年度に養成した健幸アンバサダーは62名ということだが、目標人数は。

答 アンバサダーを認定する協議会は、全国で200万人を目標としており、高鍋町では320名が目標となるが、令和5年現在で132名となっている。

◆社会教育課

問 高鍋神楽記録作成調査は、どこまで進んでいるのか。

答 令和4年度はコロナも少し落ち着き、調査委員の方が現地に赴き記録を取っている。その調査をもとに、令和5年度末までに調査報告書をまとめて関係市町村等に配布したい。

問 高鍋神楽の調査を行ったことで、国の指定に近づいているのか。

答 報告書を出すことが国の指定を目指すにあたっての必要条件でもあるので、そのための調査でもある。

◆教育総務課

問 タブレットは故障・紛失など、これから固定費がかかると思うが今後の見通しは。

答 毎年備品として4台ずつ購入しているが、国も更新を考えていることから、今後の更新は国の補助金を活用して行う予定である。

問 ことばの指導教室の成果は。

答 小学校就学前児童153名中21名が指導対象で、9月からの指導が終了した児童が14名、7名が小学校でも継続指導を行っている。

認定第4号　下水道事業　特別会計

問 汚水桝の設置数は年々減少とのことだが、計画区画はあと、どのくらい残っているのか。

答 現在97・1％整備済で、残り2・9％が未整備の状況である。

認定第5号　介護認定審査会特別会計

問 要介護度の認定方法については、コロナ禍で当事者に会えない中で、どのように審査しているのか。

答 できるだけ調査するようにしているが、状況によってはリモートでの実施もある。また、状態が安定していれば1年間更新するという国の指針に基づいても対応している。

認定第6号　介護保険特別会計

問 高齢者お助けボランティアの周知活動はどうしているのか。

答 地域包括支援センター職員や担当のケアマネージャーなどの情報から活用の検討を行っている。

認定第7号　一ツ瀬川雑用水管理事業特別会計

問 徴収漏れはないのか。

答 再度1件ずつ徴収漏れが無いかチェックを行い、木城町、新富町にも再度確認している。

認定第9号　水道事業会計

問 有収水量が減っている原因は何か。

答 大口給水事業所である工場や学校での使用水量が減ったため。